



カマクラヒバ [鎌倉檜葉] /チャボヒバ

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 園芸品種



カマクラヒバ全景

科名 ヒノキ科ヒノキ属 (APGⅢ)

特記 生長：やや遅い

葉が細かく美しいヒノキから選抜された園芸品種で、枝葉が短く密生する。生長が遅く細かな枝をつけるため刈り込むと綺麗に生えそろう。独特の気品があり、古くから玉散しや生垣に利用されている。チャボヒバと分類上は同等だが、造園材としては別扱いにする場合がある。



カマクラヒバ生垣



カマクラヒバ生垣



チャボヒバ全景



チャボヒバ仕立物

Memo

チャボヒバ、オウゴンチャボヒバ、カマクラヒバを同等とする場合と別扱いにする場合がある。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花 期													
果 実													
紅 葉													
施 肥													
剪 定													

好みの環境			
日 当 り	陽	○ ○	陰
土 壌	乾	○ ○	湿
寒 さ	強	○	弱
暑 さ	強	○	弱
潮 風	強	○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○		○				

ポイント

寒さに強く、適応範囲が広い。カマクラヒバやチャボヒバは、庭園樹としての歴史が古く、日本の環境にもよく適応し育てやすいが、定着後の移植を嫌うので配置を慎重に決めるとよい。

剪定

内部の枯葉が気になるときは、「もみ上げ」をする。枝先をまとめるように持ち軽く揉むと枯葉だけが落ちてくる。生長が遅いので刈り込みは、年1回で済むが、毎年行うときめ細やかに仕上がる。

病虫害

病虫害は少ない。